

高梁クオリティ

TAKAHASHI QUALITY OKAYAMA JAPAN

高粱クオリティとは



「晴れの国」ともいわれる岡山県。

その気候は果実や野菜、^{かき}花卉など、

自然の恵み^{もたら}を齎してきました。

その中でも^{きび}吉備高原に位置する^{たかはし}高梁市は

丘陵地特有の水はけの良い地形、

盆地特有の昼と夜の寒暖差など

良質な農産物を生み出す恵まれた環境が整っています。

^{ふうこうめいび}風光明媚なその町には、

より高い品質の農産物を作るために

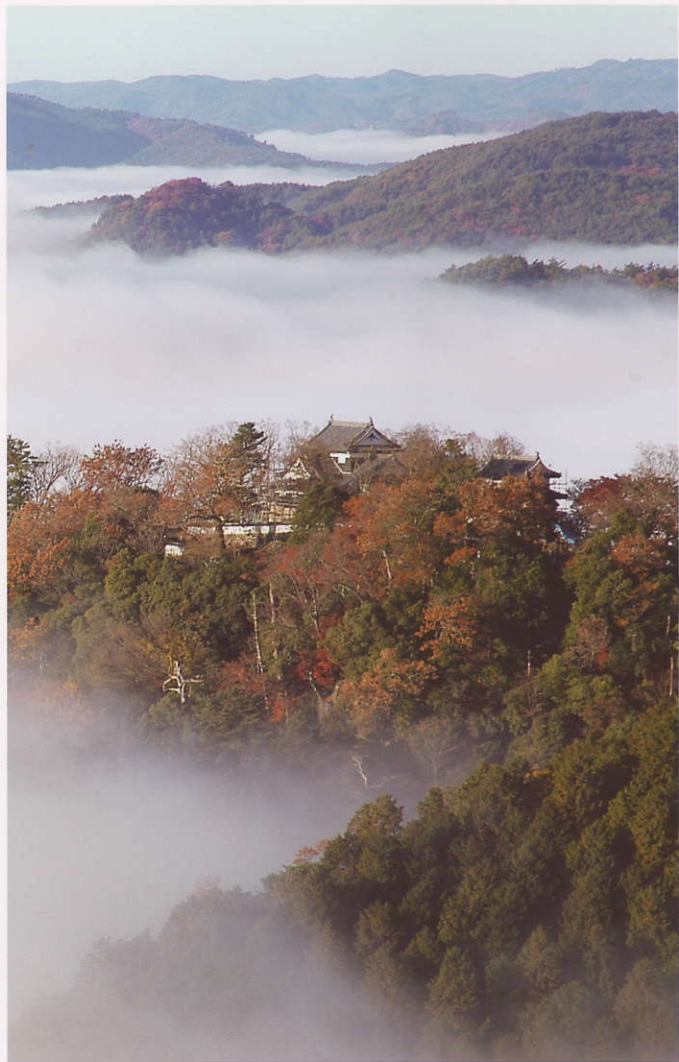
今日も^{けんさん}研鑽に励む人々がいます。

受け継がれる技術と愛情を注いで創り上げられるもの

それが「高梁クオリティ」。

選り抜かれた高梁の最高品質です。





逸品の生まれる町

岡山県の中西部に位置する高梁市。

中央部には清流高梁川が流れ、その両側には
標高300メートル超の吉備高原が広がり

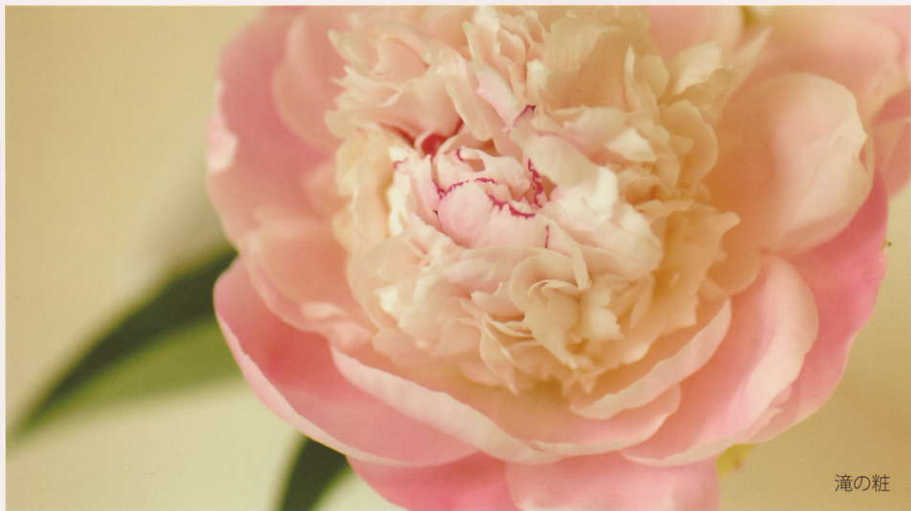
日本の原風景ともいえる里山の、美しい自然景観が現代に息づいています。

いただき びっちゅう
山の頂にある備中松山城は国の重要文化財に指定されており

晩秋の頃には美しい雲海に包まれ、幻想的な景色が現れます。

自然がもたらす優美な風景と、人々が脈々と作り上げてきた歴史と文化こそ
高梁クオリティの原点です。





滝の粧

高粱の芍薬

しやくやく

芍薬は、晩春から初夏に花を咲かせます。

ずっと上に伸びる姿が美しく

「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」という

美人を喩えたことわざたとにうた謳われるほど。

花言葉は「慎ましやか 恥じらい はにかみ 清浄」。

甘く爽やかな香りはハーブや香水にも使用されています。

高梁市は

30年以上前に芍薬の栽培をはじめ

西日本最大の産地を誇った時代がありました。

今もなお中国地方の最大産地ではありますが

株の植え替えや土の改良を進めながら

高梁市を代表する花としての

さらなるクオリティの高みを目指して

生産農家をはじめとした芍薬を愛する人々が

今日も切磋琢磨せつさたくましています。

芍薬は5月に旬を迎え、

その可憐な姿と彩りが見る人を魅了します。

□ 高梁市の栽培品種

かしょくのてん
華燭の典、滝の粧、滝沢赤2号、ラテンドレス など

□ 高梁クオリティの芍薬の品質基準

- ・蕾は直径3cm以上の大きさ
- ・草丈は70cm以上の長さ
- ・茎と葉がしっかりしている
- ・咲く直前の蕾状態で採花
- ・高梁クオリティ認定農家が栽培



ラテンドレス

